

# 裏切り者 スノーボール 重要指名手配

## 裏切り者スノーボールの正体

スノーボールは、狡猾かつ狭量な性格の持ち主である。知恵と弁舌を武器に、動物たちの信頼を一時的に集めたが、その真の目的は己の権力掌握であった。農場の秩序を乱し、ナポレオン唯一の指導者に対抗しようと画策した末、ついには追放処分となる。現在も潜伏先不明のまま、陰で動物農場を脅かす工作を続けている。近隣農場での目撃情報も後を絶たず、農場内に再び侵入を試みているとの噂もある。奴はあらゆる混乱の影に潜み、無辜の動物たちを欺いている。動物の平穏と安全を奪い、不安と混乱を撒き散らすスノーボールは裏切り者であり、革命の敵である。

## 悪質な扇動と反逆の罪

スノーボールは、農場の平和を乱す数々の罪を犯している。風車の破壊を指揮したとされるほか、夜陰に紛れて農場の貯蔵庫を荒らし、家畜たちを混乱に陥れた。さらに、外部の人間と密通し、情報を漏洩したとの報告もある。これらはすべて、動物農場の自主独立を脅かす行為であり、許しがたい反逆である。目撃者の証言によれば、スノーボールは農場内の混乱時に度々その姿を現し、不安を煽る言動を繰り返していたという。また、若い動物たちを言葉巧みに騙し、農場に対する不信感を植え付けていたとの記録もある。彼の活動は単なる妨害ではなく、計画的な扇動であることが明白である。さらに、彼は夜間に壁へ扇動的な落書きを残したり、鶏舎の前に謎の文書を置き去るなどの挑発的行動も繰り返していた。これらの行為は動物たちを動揺させ、混乱を生むことを目的としていたことは疑いようがない。また、風車の設計図が紛失した際、その直後にスノーボールの影が目撃されたとの報告もあり、農場における重要資料の情報漏洩に関与している可能性も高い。これら一連の行動はすべて、動物農場の理念と秩序を破壊しようとする意図に基づいており、極めて危険である。

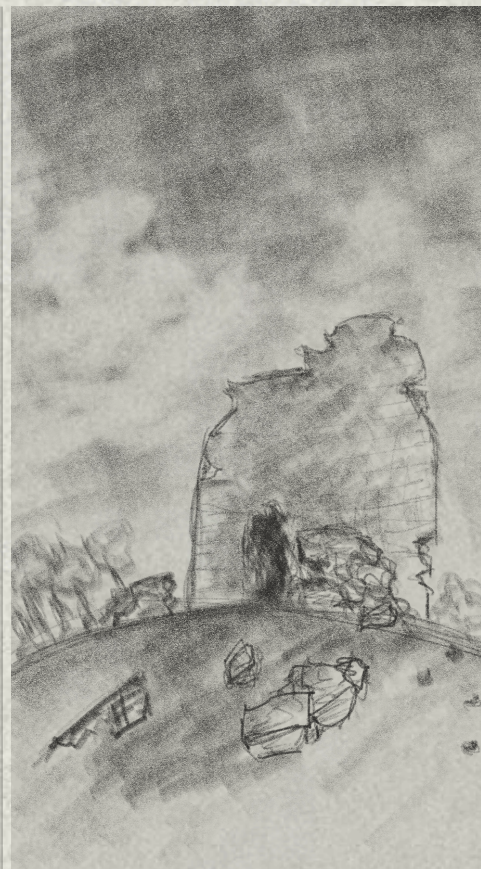
## 英雄の仮面？ 戦闘美談に潜む疑惑

多くの動物が信じる「牛小屋の戦い」での英雄像。それは巧妙に仕組まれた演出だったのかもしれない。極秘調査によれば、スノーボールは初めからジョーンズの手先であり、戦闘の混乱を利用して農場を裏切る計画を練っていたという。戦闘中に受けたとされる傷も、敵への忠誠を隠すための偽装にすぎなかったとの指摘がある。授章された勲章も、すでに取り消されている。真相は依然不明な点もあるが、記憶より記録、印象より証拠が必要な時代に入った。我々は真実を問い直す覚悟が求められている。



## 風車破壊は計画的犯行か

目撃情報によれば、スノーボールは夜間に風車周辺をうろつき、構造を確認する姿が確認されていた。風車は我々が労働の象徴であり、同志ナポレオンの計画の要である。この風車は、農場全体に安定した電力と穀物の加工力をもたらし、動物たちの生活を大きく向上させるはずの革新的な建造物である。その完成は、寒冷期の食糧確保や労働時間の短縮にも直結し、全動物の福祉向上に寄与するものであった。さらに、この風車は未来の自給自足体制の礎であり、人間に依存しない農場の確立を象徴する存在でもある。知識の集約であり、勤勉の結晶であり、動物たちの協働の証として、まさに農場の精神的支柱であると言えるだろう。風車の実現は、動物社会における平等と自立を具体化する第一歩でもある。農場の象徴にして理想の結晶とも言えるその風車を、スノーボールは狙ったのだ。したがって、風車を標的とした行為は単なる破壊ではなく、動物の未来を否定する暴挙に他ならない。スノーボールの行為は、無知と混乱の再来を招き、動物たちの努力と希望を踏みにじるものである。我々はこの野望を打ち砕かねばならない。



スノーボールにより破壊された風車

## 目撃情報

①	②	③	④	⑤	⑥
風車	牛舎	大納屋	鶏小屋	野菜園	丘の草むら

## 通報奨励！ 報酬あり

スノーボールを処刑した者には、報酬としてりんご半ブッシュル。さらに、同志ナポレオンより「動物勲章功二級」を授与される荣誉に与る。また、生け捕りにしたものにはりんごブッシュルが授けられる。通報先は農場の豚たち、または「犬の警備隊」詰所へ。匿名通報も受け付けている。すべての動物が協力し、この裏切り豚を捕えよう！

## 秩序維持は動物の義務である

動物農場の秩序と安寧は、同志ナポレオンによる揺るぎなき指導のもとに成り立っている。秩序とは単なる規律ではなく、すべての動物に与えられた責務であり、未来への献身である。各々が持ち場で誠実に働き、仲間を尊重することによってのみ、真の平等が実現される。こうした協調と分担の精神は、農場の繁栄を根底から支えるものであり、何よりも守るべき価値である。しかし、スノーボールの存在はこの理想への重大な挑戦を意味する。彼は不和と疑念を植え付け、動物たちの間に不信と対立を生じさせている。こうした混乱は、結果として動物社会の根幹を揺るがすことになる。秩序は外部から与えられるものではない。我々が日々の営みの中で自ら築き上げ、守り続ける意志の現れである。動物農場における秩序とは、すべての命が平等に尊重され、安心して暮らすための前提条件である。今、我々が求められているのは、共通の価値観を再確認し、混乱の芽を摘むことである。スノーボールのような存在に惑わされることなく、農場の理念と未来を堅持しよう。動物一頭一頭がその自覚を持ち、行動に移すことが、繁栄への道であり、未来世代への責任の果たし方なのだ。

## 農場掲示板

- ・ Dの次は何？-ボクサー
- ・ 聖歌隊募集-ミニマス
- ・ 陽当たり調査のため休業中-猫
- ・ 酒は脳に良いらしい-匿名

## 同志ナポレオンの名の下にすべての動物は平等である

# 動物新聞

取材協力: フタ、ハト、ヒツジ、イヌ  
その他動物農場の動物たち  
ピンチフィールドの動物たち  
フォクスウッドの動物たち  
編集長: スクワイラー